

「風洞技術の開発と応用シンポジウム～風洞シンポジウム 2016～」  
「風と流れのプラットフォーム・シンポジウム 2016」  
合同シンポジウム開催のお知らせ

風洞研究会主査 阿部 裕幸

この度、『風洞技術の開発と応用シンポジウム～風洞シンポジウム 2016～』と『風と流れのプラットフォーム・シンポジウム 2016』の合同シンポジウムを一般社団法人可視化情報学会、文部科学省先端研究基盤共用促進事業「風と流れのプラットフォーム」（代表：国立研究開発法人海洋研究開発機構）、国立研究開発法人産業技術総合研究所の共同主催、及び社団法人日本風工学会の協賛で開催いたします。

[開催日] 2016年11月22日（火）10:30～17:30

[会場] 国立研究開発法人産業技術総合研究所つくばセンター共用講堂  
〒305-8560 茨城県つくば市梅園 1-1-1

[趣旨] 前半は従来の風洞シンポジウムとして風洞に関する最近の技術動向、実績などについて話題を提供する講演と施設見学を行います。後半は平成28年度より文部科学省先端研究基盤共用促進事業の支援で開始された「風と流れのプラットフォーム」事業を紹介いたします。これまで開催されてきた風洞シンポジウムの枠組みに数値流体シミュレーションを加え、“風と流れ”に関する幅広い分野の問題解決とイノベーション創出にフォーカスしたプラットフォームへ展開する試みを紹介いたします。

[講演・内容]（予定）

『風洞技術の開発と応用シンポジウム～風洞シンポジウム 2016～』

- (1) 開会挨拶：宗像鉄雄（産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 省エネルギー研究部門長）
- (2) 風洞研究会紹介：阿部裕幸（可視化情報学会風洞研究会主査、産業技術総合研究所）
- (3) トヨタの実車風洞：前田和宏（トヨタ自動車）
- (4) 風速の国家計量標準：岩井彩（産業技術総合研究所）
- (5) 計量標準総合センター風洞施設見学（※）

（※）施設見学の定員は30名（先着順）です。参加申し込み時に施設見学希望の旨をお知らせください。

『風と流れのプラットフォーム・シンポジウム 2016』

- (6) 風と流れのプラットフォーム事業の紹介：浅野俊幸（海洋研究開発機構）
- (7) 大型風洞と温度成層風洞で行った実験：大屋裕二（九州大学応用力学研究所教授）
- (8) 京都大学防災研究所境界層風洞実験装置の紹介：丸山敬（京都大学防災研究所教授）
- (9) 東北大学低乱風洞実験施設の紹介：小西康郁（東北大学）
- (10) 風洞試験とCFDを融合した研究開発の取り組み事例紹介：加藤裕之（JAXA）
- (11) 閉会の辞

[参加費] 2,000円（学生・院生およびシニア（60歳以上）は無料）（当日会場にて集金）

[懇親会] 講演終了後に懇親会を企画しています。会費：3,000円（当日会場にて集金）

[申込方法] 「風洞シンポジウム 2016 参加申込」と題記し、

(1)氏名・所属（学生・院生・シニア該当の有無）、(2)連絡先（E-mail、TEL）、(3)施設見学希望の有無、(4)懇親会の出欠をE-mailにて受付担当（E-mail: wt2016-ml@aist.go.jp）までお申し込み下さい。

【申込期限】平成28年10月24日（月）